

インドへ原発を売るな！

4 / 11 (金) 原発輸出反対学習会

安倍政権は、「2020年に30兆円（現状10兆円）のインフラシステムの受注を実現する。」（日本再生戦略）としています。その中心が原発の輸出です。

日本国内の原発新增設が事実上頓挫した現在、原発メーカーとその債権者である大手銀行が狙うのはインド等海外への輸出です。2013年5月原子力協定の締結に向けた日印両国の合意以降もインド国内では、7月に全国反原発集会成为成功するなど、フクシマ事故を契機とした反対運動の高揚は力強く継続されています。

インド原発問題の第1人者である福永先生をお迎えして、こうしたインドの情勢と原子力カマラの動きを学習し、国際連帯で原発輸出に反対する運動を進める討議を行います。ぜひご参加ください。

日時：4月11日（金）

19時～21時

会場：中央区新富区民館
6号室

東京メトロ日比谷線・JR京葉線八丁堀駅
下車A3出口 徒歩5分

参加費：500円



講演

福永正明： 岐阜女子大学南アジア研究センター
センター長補佐・客員教授。

インド、南アジア地域の専門家。南アジア地域の動向分析と国際関係、インド社会構造を専門とする。インドの日刊紙 The SANMARG の日本特派員。社団法人日本外国特派員協会正会員。『世界12月号』に「日本は原発を売るな！」を寄稿。



主催：コトパンジャン・ダム被害者住民を支援する会 協力：平和と民主主義をめざす全国交歓会（ZENKO）
連絡先：山口 携帯 090-8455-5352 <http://www.kotopan.jp/>